

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成26年5月14日

【四半期会計期間】 第25期第1四半期(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

【会社名】 株式会社TRUCK - ONE

【英訳名】 TRUCK-ONE CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小 川 雄 也

【本店の所在の場所】 山口県下松市生野屋南三丁目3番40号

【電話番号】 0833 - 44 - 1100(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 福 谷 良 昭

【最寄りの連絡場所】 山口県下松市生野屋南三丁目3番40号

【電話番号】 0833 - 44 - 1100(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 福 谷 良 昭

【縦覧に供する場所】 証券会員制法人福岡証券取引所  
  
( 福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号(福岡証券ビル) )

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第24期 第1四半期 連結累計期間	第25期 第1四半期 連結累計期間	第24期
	自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日	自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日	自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日
売上高 (千円)	1,089,103	1,093,528	4,423,562
経常利益 (千円)	7,572	21,250	1,347
四半期(当期)純利益 (千円)	4,163	15,831	98,793
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	6,350	15,197	101,583
純資産額 (千円)	453,609	551,884	542,765
総資産額 (千円)	2,804,592	2,658,833	2,553,239
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	1.71	6.51	40.64
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	16.2	20.8	21.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、第24期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済環境としては、日本銀行による金融緩和や政府の経済政策により企業収益の改善が進み、個人消費についても消費税引き上げに伴う駆け込み需要等があったことから、景気は緩やかな回復基調となりました。

当社グループの主力事業である商用車関連事業は、主要な取引層である建設・土木関連及び運送関連ユーザーの設備投資が昨年来底堅く推移しており、全国の営業拠点でニーズに即応した買取・販売を行った結果、利益面は前年同期を上回ることになりました。

運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が主要な事業として行っており、消費税増税前の駆け込み需要の影響もあり、売上高及び利益は前年同期を上回ることになりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績としては、売上高1,093,528千円（前年同期比0.4%増）、営業利益17,867千円（前年同期比115.5%増）、経常利益21,250千円（前年同期比180.6%増）、四半期純利益15,831千円（前年同期比280.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

#### 商用車関連事業

事業用車両の販売が堅調に推移したことにより、商用車関連事業の売上高は852,607千円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は2,622千円（前年同四半期はセグメント損失838千円）となりました。

#### 運送関連事業

取引先からの運送貨物・石油製品輸送の受注が増加したことにより、運送関連事業の売上高は240,921千円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益は11,342千円（前年同期比47.8%増）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,208,000
計	10,208,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年5月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,552,000	2,552,000	福岡証券取引所 (Q-Board市場)	単元株式数 100株
計	2,552,000	2,552,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年3月31日		2,552,000		97,725		42,125

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 120,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,431,200	24,312	
単元未満株式			
発行済株式総数	2,552,000		
総株主の議決権		24,312	

## 【自己株式等】

平成26年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株)TRUCK-ONE	山口県下松市生野屋南3-3-40	120,800		120,800	4.73
計		120,800		120,800	4.73

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、ACアーネスト監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	380,985	396,541
受取手形及び売掛金	227,217	223,128
商品及び製品	888,875	982,664
仕掛品	3,557	20,422
原材料及び貯蔵品	3,972	3,510
繰延税金資産	1,377	5,126
その他	23,229	24,083
貸倒引当金	867	819
流動資産合計	1,528,348	1,654,658
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	187,373	137,853
土地	432,203	432,203
その他(純額)	257,247	283,590
有形固定資産合計	876,823	853,647
無形固定資産合計	7,007	6,089
投資その他の資産		
投資有価証券	76,886	78,422
長期前払費用	614	449
破産更生債権等	1,189	1,189
繰延税金資産	11,665	12,204
敷金及び保証金	22,617	22,617
その他	29,100	30,568
貸倒引当金	1,014	1,014
投資その他の資産合計	141,060	144,438
固定資産合計	1,024,891	1,004,175
資産合計	2,553,239	2,658,833
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	167,553	342,775
短期借入金	1,160,000	1,160,000
1年内返済予定の長期借入金	116,716	116,172
リース債務	28,653	27,527
未払金	143,934	108,051
未払法人税等	3,469	10,600
賞与引当金	1,069	8,776
その他	22,504	10,881
流動負債合計	1,643,900	1,784,785

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	258,027	224,807
リース債務	44,684	36,698
長期未払金	15,419	11,682
繰延税金負債	3,124	2,791
退職給付引当金	44,652	45,643
その他	666	540
固定負債合計	366,574	322,163
負債合計	2,010,474	2,106,949
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	407,113	416,866
自己株式	7,782	7,782
株主資本合計	542,010	551,764
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	754	119
その他の包括利益累計額合計	754	119
純資産合計	542,765	551,884
負債純資産合計	2,553,239	2,658,833

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,089,103	1,093,528
売上原価	953,577	942,237
売上総利益	135,525	151,291
販売費及び一般管理費	127,233	133,424
営業利益	8,291	17,867
営業外収益		
受取利息	207	180
受取保険金	2,028	1,110
保険解約返戻金	479	2,342
持分法による投資利益	658	2,537
その他	1,922	1,374
営業外収益合計	5,297	7,545
営業外費用		
支払利息	5,773	3,840
その他	243	321
営業外費用合計	6,016	4,162
経常利益	7,572	21,250
税金等調整前四半期純利益	7,572	21,250
法人税、住民税及び事業税	5,002	9,709
法人税等調整額	1,594	4,289
法人税等合計	3,408	5,419
少数株主損益調整前四半期純利益	4,163	15,831
四半期純利益	4,163	15,831

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,163	15,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,186	634
その他の包括利益合計	2,186	634
四半期包括利益	6,350	15,197
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,350	15,197
少数株主に係る包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
受取手形	233千円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
減価償却費	43,343千円	40,579千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月22日 定時株主総会	普通株式	3,039	125	平成24年12月31日	平成25年3月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月19日 定時株主総会	普通株式	6,078	2.50	平成25年12月31日	平成26年3月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	871,041	218,061	1,089,103		1,089,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,570	9,588	13,159	13,159	
計	874,611	227,650	1,102,262	13,159	1,089,103
セグメント利益又は損失( )	838	7,672	6,833	1,457	8,291

- (注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額1,457千円は、セグメント間取引消去であります。  
2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	852,607	240,921	1,093,528		1,093,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,761	9,722	17,484	17,484	
計	860,368	250,644	1,111,012	17,484	1,093,528
セグメント利益	2,622	11,342	13,965	3,901	17,867

- (注)1 セグメント利益の調整額3,901千円は、セグメント間取引消去であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1円71銭	6円51銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	4,163	15,831
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	4,163	15,831
普通株式の期中平均株式数(株)	2,431,200	2,431,200

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年5月12日

株式会社TRUCK - ONE  
取締役会 御中

### ACアーネスト監査法人

代表社員 業務執行社員	公認会計士	奥田 伸一	印
代表社員 業務執行社員	公認会計士	和田 治郎	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社TRUCK - ONEの平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社TRUCK - ONE及び連結子会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。